

第 49 回 盛岡市玉山区地域協議会 議 事 録

盛岡市玉山区地域協議会

第 49 回盛岡市玉山区地域協議会

日 時 平成 25 年 11 月 26 日 (火)
13 時 30 分 から
場 所 玉山総合事務所 3 階 大会議室

次 第

- 1 開 会
- 2 会長あいさつ
- 3 区長あいさつ
- 4 議事録署名員の選出
- 5 議 事
 - (1) 報 告
なし
 - (2) 審 議
 - ア 諮問事項
なし
 - イ 自主的審議事項
審議第 1 号 委員提案事項について
「 I G R 線下田駅の早期着工と駅名について」
- 6 そ の 他
- 7 閉 会

盛岡市玉山区地域協議会委員名簿

任期：平成24年2月13日～平成26年2月12日

	氏 名	所 属 団 体 等
委員	伊 香 信 子	玉山区交通安全母の会連合会 会長
委員	岩 崎 隆	元岩手県農協青年組織協議会 会長
委員	右 京 富 弥	盛岡市社会福祉協議会 副会長
委員	小 橋 弓 子	公募委員
委員	駒 井 元	盛岡市環境審議会委員
委員	齋 藤 勲	玉山区自治会連絡協議会 会長
委員	桜 輝 夫	公募委員
委員	佐々木 由 勝	元岩手県二戸振興局農政部長
委員	竹 田 ア サ	玉山区芸術文化団体連絡会理事
委員	千 葉 進	盛岡商工会議所玉山地域運営協議会 会長
委員	津志田 貞 子	元市議会議員
委員	福 田 稔	新岩手農業協同組合 代表理事組合長
委員	松 坂 幸 美	渋民中学校 P T A 会長
委員	皆 川 ミエ子	盛岡市上下水道事業経営審議会委員
委員	村 山 美栄子	巻堀地区民生児童委員協議会 会長

本議事録が正確であることを証し，下記に署名する。

平成25年6月18日

議事録署名員

竹田了也 

平成25年6月18日

議事録署名員

佐々木由勝 

議 事 録

○ 会議概要

1 会議名

第49回盛岡市玉山区地域協議会

2 開催日時

平成25年11月26日（火） 13時30分から14時17分

3 開催場所

玉山総合事務所 3階 大会議室

4 出席者 (26名)

委員：福田稔 委員（会長）、右京富弥 委員（副会長）

（9名） 駒井元 委員、齋藤勲 委員、桜輝夫 委員、佐々木由勝 委員、竹田アサ 委員
松坂幸美 委員、皆川ミエ子 委員、

（欠席者 伊香信子 委員、岩崎隆 委員、小橋弓子 委員、千葉進 委員
津志田貞子 委員、村山美枝子 委員）

市側出席者：川村玉山区長、萬事務長

（17名） （建設部）片岡参事兼交通政策課長、吉田副主幹兼交通計画係長
千葉主査

（教育委員会）北田所長、本山主幹兼館長補佐

（玉山総合事務所）佐々木参事兼総務課長、村山税務住民課長

佐藤健康福祉課長、大澤産業振興課長

泉館産業振興課主幹兼主任主査、水澤建設課長

事務局（玉山総務課）：佐々木主任主査、吉田主査、佐藤主任
加藤主任

5 傍聴者 なし

マスコミ取材2社 盛岡タイムス、岩手日報社

○ 会議内容

1 開会

(萬事務長) それでは、ただいまから第49回の盛岡市玉山区地域協議会を開会いたします。

本日は、委員総数の半数以上で会議が成立するという規定がございまして、ちょっと今回は今のところぎりぎりですが、15名中8名、あとお二方ちょっとおにくれてくるというふうに連絡が入りましたので、とりあえず本日の会議は成立をしておりますということをご報告させていただきます。

2 会長あいさつ

(萬事務長) それでは、最初に福田会長からご挨拶をお願いいたします。

(福田会長) ご苦労さまでございます。開会に当たりまして、一言ご挨拶を申し上げます。

第49回の盛岡市玉山区地域協議会を皆様方にご案内申し上げたわけですが、この時期、11月も残すところわずかとなったわけですが、いよいよ師走の時期を迎えるところでございます。お忙しいところご出席いただきましてありがとうございます。

時の流れが早く感ずるわけですが、あと残すところ1カ月ということでございますが、石川啄木記念館につきまして12月1日から、財団法人から盛岡市に運営管理が移管することになりました。そういう中におきまして、過日感謝のつどいを開催したわけですが、私も出席いたしました。長年にわたりましてご尽力をいただいた嵯峨理事長を初め、歴代の役員及び職員の方々には大変なご苦労があったわけですが、このことにつきましても感謝するとともに、今後また記念館を啄木顕彰の拠点として、ますます発展させていただきたいものだ、こう思うわけですが。

さらに、皆さんもご存じのとおり、きのう我が玉山から出ております歌手の福田こうへいさんが紅白歌合戦に出場するということが決定いたしましたわけですが、あわせて、レコード大賞の新人賞も獲得したし、最終的には最優秀新人賞を狙うというような状況でございまして、非常に我々のエリアとすれば明るい話題だと、こう思うわけですが、大いに期待を申し上げたいと思うわけですが。

さらに、今国会が開催されておるわけですが、TPP問題、あるいは秘密保護法、いろんな課題を抱えながら混乱の状況にあるわけですが、そういう中でTPPも年内に決着を見たいというようなことが言われておるわけですが、先ほどニュースを見ていますと、農業政策等については大方この見直しのまま通過するというような状況にあるわけですが、今後TPPとあわせて我々農業者にとってどのような方向に進むのか、全く先が不安要素でいっぱいですが、今後それなりの成り行きを注視していかなければならないと思っておるわけですが、そういう課題を抱えながらも、いよいよ年の瀬も迫ってきておるわけですが、皆さんとともにこの国の動き等も注視していかなければならないと思うわけですが。

本日の議題につきましては、ご案内を申し上げておりましたとおり、市からの提案事項

はないわけですが、佐々木由勝委員から提案事項1件について審議をいただくことになっております。

また、協議会終了後におきましては、第5回の玉山区地域自治区制度検討会を開催する予定となっておりますので、あわせて皆様方からご忌憚のないご意見を賜りますことをお願い申し上げます。簡単でございますけれども、開会に当たりましての挨拶にかえさせていただきます。よろしくお願いいたします。

(萬事務長) どうもありがとうございました。

3 区長あいさつ

(萬事務長) それでは、続きまして玉山区長でございます川村裕からご挨拶を申し上げます。

(川村玉山区長) 本日はお忙しい中、第49回玉山区地域協議会にご出席をいただきまして、まことにありがとうございます。

早いもので来週から師走ということで、ことしも間もなく1カ月を残すのみとなり、年の瀬を迎え、何かと慌ただしい時期になってまいりました。

先ほど会長からお話がありましたが、当玉山区在住の福田こうへいさんが、先日日本レコード大賞の新人賞、また昨日は大みそかの紅白歌合戦への出場決定のニュースが伝えられたところであります。この場をおかりいたしまして、心からお祝いを申し上げる次第であります。ご本人はもちろんのこと、地域の方々など、これまで支えてこられた皆様方のご努力のたまものと存じており、今後ますますのご活躍をご期待申し上げます。

また、寒さも日増しに厳しくなっており、降雪、積雪が気になりとなってまいったところであります。当玉山区におきましても例年どおり、除雪会議の開催など、関係する皆様方との緊密な連携を保ち、より万全の体制を築くとともに、市民の皆様方にも市の広報や玉山区地域協議会だよりを通じまして、スムーズな作業の実施に向けて、ご理解、ご協力を呼びかけてまいりたいと存じております。

本日は、自主的審議事項1件を協議していただくことになっております。委員の皆様のご忌憚のないご意見を期待申し上げます。開会に当たっての挨拶とさせていただきます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

4 議事録署名員の選出

(萬事務長) それでは、次に次第の4、議事録署名員の選出でございますが、ここからは福田会長さんに議長をお務めいただきますようお願いいたします。よろしくお願いいたします。

(福田会長) それでは、4番の議事録署名員の選出でございますが、恒例によりまして私のほうからご指名申し上げたいと思っておりますが、よろしゅうございますか。

(「異議なし」の声)

(福田会長) それでは、駒井元委員、齋藤勲委員、ご両名にお願いいたしますので、よろしく
お願いいたします。

5 議 事

(1) 報 告

(福田会長) 議事に入るわけですが、この会議につきましては公開として行いたい
と思いますので、よろしくお願いいたします。

それでは、次に移りますけれども、報告事項はございません。したがって、審議に
入りたいと思います。

(2) 審 議

(福田会長) 諮問事項につきましても本日はございません。したがって、自主的審議事項
に入りたいと思います。

審議第1号ですが、委員の提案事項について、I G R線下田駅の早期着工と駅
名についてを評議題といたします。

それでは、前回審議により、本日は担当の交通政策課にご出席をいただいておりますの
で、本案件に関する動向について、ご説明をいただきたいと思っております。よろしく
お願いいたします。どうぞ座ったままでお願いします。

(片岡参事兼課長) 交通政策課の片岡と申します。よろしく申し上げます。それでは、審
議事項ということでございますが、私どものほうで昨年実施いたしましたI G R下田駅設
置に係る調査と申しますか、事業調査を行いましたので、その結果をまずご報告させてい
ただきたいと存じます。

お手元のほうに資料をお配りしておりますので、そちらのほうをごらんいただきたいと
存じます。まず、1でございますが、皆さんご承知のとおり、左側のほうに位置図を載せて
おります。好摩駅と渋民駅の間点、好摩駅からは2.8キロ南に行
ったところの赤い箇所、ここが下田駅として予定されている場所でございます。その図面
の右側のほうが拡大した部分でございます、具体的には下田踏切のある付近ということ
でございます。

次に、玉山区におきます鉄道の利用実態ということで、平成14年からのグラフでござい
ますが、平成14年からの好摩駅と渋民駅の乗降者の推移という形でグラフを載せておりま
す。赤いほうが好摩駅、青いほうが渋民駅でございます。まず、平成14年ですけれども、
好摩駅が大体1日2,900人弱でございます。渋民駅のほうが850人程度でございます。それ
が平成23年度の数値で申し上げますと、好摩駅が2,100人、渋民駅が600人ということで、
ここに書いてございますとおり、両駅とも約3割近く乗降客が減少している状況にあると

というのが実態でございます。

次に、裏面でございます。そうした現況を踏まえまして、では新しい新駅を計画したらどうなのかというのを、事業調査をやったわけでございます。ケースは2つ想定しております。ケース1といたしましては、現況の人口のまま下田駅を設置した場合、ケース2といたしましては渋民地区の土地区画整理事業、大分うちも建ってまいりましたが、ここが全て埋まって、計画人口が張りついたということを想定して、ケース1、現況よりも人口にして1,100人増加した場合というパターンでございます。下のほうのグラフが今各駅の乗車人員の予測結果ということで、一番左側が現況の好摩駅と渋民駅、ケース1の好摩、渋民、下田、同じくケース2という形で載せております。

結果でございますが、現況で好摩駅のご利用が大体520人ということでございます。渋民駅につきましては302名という形、約300人という格好になっています。これが現況のまま、今の人口のまま中間に駅をついた場合どうなるかということでございますが、好摩駅のご利用についてはほぼ変わらない状況にあります。したがって、新規の需要がふえる部分と、それから青いグラフを見ていただきたいのですが、こちらの渋民駅から下田駅に利用が流れる部分といいますか、そういった部分が約90名いらっしゃるという形で、結果といたしましては渋民駅が現況302名でしたが、それが210名程度になる、下田駅が260名程度という想定でございます。

ケース2につきましては、同じような想定なのですが、渋民駅が206人、下田駅が389という、390弱ということでございますが、そういった利用になりますということで、結果といたしますと、合計で申し上げますと、現況822が、ケース1の場合ですと169名ふえて991、ケース2の場合ですと294ふえて1,116という形でございます。そういった形で、仮に駅をつくればこの程度の利用が見込めるのかなということで、あくまでもこれは駅の計画の前の想定がございまして、通常駅から1.5キロという駅勢圏と言うのですが、そういう方々がご利用いただけるということで想定をしたものでございます。

次に、概算事業費でございますが、I GRのほうで試算いただいておりますが、新駅の事業費というのが約9億8,000万というふうに伺っております。整備の内容といたしましては、ホームが2面、それから連絡橋、それからエレベーター、あとは上屋、待合室、トイレでございます。こういった形で9億8,000万ということで、非常に費用もかかるというふうなことでございます。その下のグラフですが、こちらは整備費と、それから乗車人員とございますか、ご利用いただける人を比較して比べてみたグラフでございます。赤い折れ線になっている部分が乗車人員ということで、青い棒グラフが、例えば仮に割り算でございますが、総事業費を利用者で割るという形になれば、1人当たり幾ら費用がかかっているかというふうな形でグラフにあらわしたものでございます。下田駅のケース1の場合ですと、1人当たり1万825円という形になっておりますし、ケース2の場合ですと7,200円程度、青山駅の場合は1,420円という形です。好摩駅、これは新駅でございませませんが、せんだって自由通路と、あと広場整備をいたしましたので、これもあわせて載せてございますが、この場合ですと6,770円ぐらいという形で、こういった形で整備や比較をしております。

ちなみに、青山駅でございますが、青山駅の整備費につきましては6億1,000万という形になってございます。好摩駅につきましては、ちょっと括弧書きで書いてありますが、大半

は自由通路の部分でございまして、それが約11億かかってございます。駅舎部分を含めま
すと約13億という形で、駅の整備に2億ぐらいという形だったというふうに記憶しており
ます。こういった形で、利用の調査の結果につきましては、沿線の人口、これらにかかわ
る部分が非常に大きくて、こういったご利用状況になるということで結果をまとめており
ます。

私のほうからの説明は以上でございます。

(福田会長) ありがとうございます。

ただいま説明をいただいたわけでございますけれども、今回の提案者の方からも一言い
たきたいと思っております。

(佐々木委員) それでは、前回もご説明を申し上げたところでありますので、新市建設計画に
入っている内容でありますと、合併の際の約束事項だと。期限については、特に明記をし
ておらないものですから、早期の着工をするべきだというお願いをしたところです。それ
は時代の流れで、世界遺産の話が出ておりますし、平泉はなりました。オリンピックが決
定をいたしました。まさに石川啄木は世界的な文学者であります。そういった意味での国
内外あるいは県外からの客を誘致したいと。そのためには、好摩駅あるいは浜民駅では少
し遠いのではないかと。下田駅というのを、新設の計画があるわけですから、合併特例債
もあります。これを使って早期に着工してほしいと。

まさに、今の課長さんのご説明はそのとおりだと思いますが、抜けている部分がありま
す。これは、予測をする際の、手違いではないでしょうけれども、先ほど申し上げた世界
遺産あるいはオリンピック等々の国際的な観光客の増加に対する、啄木のいろんなふるさ
とをお訪ねいただく方々の予測だとか、あるいは運動場が今整備をするところでありま
すし、今晚も地域住民との検討会があるわけですから、何とか旧市内の皆様方からも活
用できるような運動場にしていきたいと。今バスあるいは自家用車で来る方々が非常に多
くて利用いただいておりますが、これが駅ができると5分ぐらいで運動場にも体育館にも
着きますので、これは利用者がふえるだろうと。

それから、何よりI GRの運賃が高いのです。これはしようがないと思うのですけれど
も、無料駐車場を、あれだけの農地がありますので無料駐車場を設置していただくと。そ
れによって近隣市町村、滝沢、八幡平、岩手町、これ皆様方が無料駐車場にご利用いた
だいて乗車をいただくと。これは実績とすれば、課長さんおわかりのとおり、巢子の利用者
は滝沢の方々ではないと聞いておりますし、大釜にも無料駐車場があるのです。これは、
雫石等々からの利用者が無料駐車場にとめて利用客をふやしているのだと。青山にも1日
200円で駐車場があると聞いておりますけれども、そういったような新しいスタンスの調査
項目がないことについては、少なくとも盛岡市の交通政策課とすれば残念でならないと。
その予測をしたときに、私は今の210人とか390人の利用者どころではなくて、巢子に近い
利用者になるのではないかというふうに期待をしてご要望申し上げたわけです。今の予測
であれば、これはどうしようもないです。前潟にはかなわないのです。それだけではない
ですね。合併をしたときの約束ですから。人数が少なければ不便感じてもいいのか、あ
るいはいろんな人を呼んで地域活性化に結びつけることを考えなくてもいいのかというこ

とを考えると、やはり地域で乗る方もふやしていかなければならない。逆に、こっちに呼ぶという施策が交通の場合には必要ではないかと。そういった意味では、タイミング的には世界遺産、オリンピック、世界的な人口の流れに、私は石川啄木という世界的な文学者もいる渋民公園、だから名前も啄木公園駅というような話でご提案申し上げているわけです。滝沢駅も新しい名前を募集しているそうです、滝沢市で。負けないで頑張ってもらいたいのです。これは、役所の皆様方、あるいは予算の関係もあるので、我々が要望するようなわけにはいかぬわけでありませうけれども、その辺も含めたデータであればよろしかったかなと感じてお聞きをいたしました。

以上です。

(福田会長) ありがとうございます。

提案者の方から、そしてまた現在担当している方からも説明があったわけですが、新市建設計画の中に入られておる事業でございます。現状を見れば、数字上からいけば、まさに難しい状況にあるわけでございますけれども、やはり前向きに取り組んでいただくことが新市建設計画だと思うわけでございます。それぞれ委員の皆さんからもご意見等があると思っておりますので、ひとつよろしくお願ひいたします。ございませんでしょうか。

(「ちょっといいですか」 の声)

(福田会長) はい、どうぞ。

(佐々木委員) 合併特例債が5年ないし10年の延期になると、なりそうだという情報が流れて、ほぼそうなるそうですが、その合併特例債の活用からいけば9億でも10億でも、それは借金ですから返さなければならぬのですが、利息はつかないということで、予算的には盛岡の中につくるということになれば、合併をしたという、合併特例債という場面からいけば、無料駐車場をつくるにしても非常にやりやすいのではないかなという部分を追加してご説明申し上げます。

(福田会長) その点につきましてはいかがでしょうか。

(佐々木委員) では、その観光客と運動場と無料駐車場の話は検討しなかったの。

(片岡参事兼課長) 通常、新駅を計画する場合の推計方法というのがございまして、基本的には日常お使いいただけるということで、どうしてもやっぱり住民の方々の人口、それに伴って例えば通勤、通学、買い物、こういったご利用をいただけるというのが基本なので、通常はそういう形で推計をしています。佐々木委員おっしゃるとおり、確かに観光という部分もございませうが、その部分については、それプラスアルファだというふうな考え方で捉えるのが通常でございます。

啄木ということで啄木記念館、先ほどお話いただきましたが、ちょっと私も啄木記念館のことを調べてまいりました。昭和61年でしたか、あれがピークだったというふうに残じ

ておりますが、年間で11万6,000人ぐらいという形で年々減少傾向になってきて、平成16年当方で2万3,966名という形で、平成23年、これは震災の影響で若干落ち込んでいるとは思いますが、1万1,775人ということで、大体2万人程度だというふうに仮に想定いたしますと、これは観光ですので、お休みの日とかそういった形が多いと思います。これを例えば日当たりで割り算しますと、日当たり大体50人程度というふうになると思います。そういった形で、プラスアルファの部分はあるというふうには存じております。

無料駐車場のお話でしたが、確かに私どもも青山駅と巣子駅が同時になって、巣子に無料駐車場ということで、実は好摩のほうからもかなり巣子のほうに車で行って使われている方もいるというふうな話も聞いてございます。私どもとすればI GRの利用促進ということで、I GRを使っていたら、そのことによって料金が下がればそれにこしたことはないわけですが、どうもそういう形ではなくて無料のほうに流れているというのが実態であると思います。そういった中で、結局は新しい駅をつかって、先ほど申し上げたとおり、例えば渋民から若干流れてくる人がいたり、あるいは佐々木委員おっしゃるとおり、無料駐車場をつくれれば好摩からも流れてくる人がいて、全体としてそう大きくふえるという要素は少ないのかなというふうにも思います。それは、実際推計のやり方ももちろんあると思いますが、我々が今やっているのは一般的な推計方法でございまして、環境部分というのはプラスアルファの要因だというふうにご考慮いただいております。

(福田会長) そのほかございませんか。

(佐々木委員) 今課長がおっしゃるように定期的なものではないのですが、無料駐車場については好摩を想定しているわけではなくて、八幡平あるいは滝沢の北の部分、巣子まで遠いところ、これについてはきっと下田だろうと。実は、昔好摩がべらぼうに多かったときは大更、松尾がみんな好摩の運動場の駐車場に置いて歩いて乗ったのです。それが今巣子に行ってしまうということで極端に減っているし、工事中であそこ、駐車場無料のところは少なくなったのです。それが巣子に行ってしまったと。もちろん電車賃が安いものですから南に行ってしまうのです。ですから、下田駅が想定するのは川口とか沼宮内を想定しなければならぬのです。これ言っては怒られるので八幡平と言っているわけですが、これは間違いなくその分ではふえるし、実質的には調査されているように大釜にしる、巣子にしる、青山にしる結構遠いところから乗っていますものね。ただ、それがいいとか悪いとかではなくて、I GRに乗っていただければ、盛岡まで車で行こうという人がその無料駐車場にとめて乗ることになれば、これはI GRの利用増にもなります。これは身近なところでは、課長も知っているとおおり、渋民駅に今I GRがラインを引いて立派な駐車場にして看板を立てて、そしてたった3台ですよ、3台の200円コーナー。あいているところは200円にとめているようですが、切符の売れる数がふえたと間違いなく言っていますから、これはぜひこれだけのいい駐車場予定地がありますので、駐車場による利用者確保には、もう少し、記念館の50人はそんなものかもわかりませんが、もしかすれば市に移管をされた記念館ですから、いろんな企画をして、いろんなお客さんを呼ぶようなプランがある。11万から2万に下がったのは、これは間違いなく工

夫がなかったためです。地域ではみんなそう思っていますから。記念館のやり方に問題はあったと、誰も責任とっていませんけれども。ですから、今度は文化事業団の企画に大変な期待をしているわけです。ただ、それには地域も一緒にやろうよと、地域も一緒に盛り上がっていかうというようなことで、50人が100人、あるいは場合によっては臨時列車を出すぐらいの企画イベントなどの計画ができると、駅ができれば。今好摩からでも渋民からでも駅利用にはならないのです。貸し切りバスの世界なのですよ、ご案内のとおり。そういったような効果からいけば、今がっかりするような予測結果が出ておりますけれども、こんなものではないという可能性は十分あるというふうに我々は読んでおるところであります。

以上です。

(福田会長) ありがとうございます。

そのほかございませんか。

(なし の声)

(福田会長) 現状からいえばなかなか難しい状況にあるわけでございますけれども、合併時において、このことは玉山村から提案された新市建設計画という大きな案件なわけございまして、現状がこのような状況にあるのだからということをいつまでも言うことなくして、前向きにそれぞれ玉山区の将来発展を見据えながら、まだまだそういう要素があろうかと思いますので、ひとつお取り組みをいただきたいと、こう思うわけでございます。

そのほかございませんか。

(なし の声)

(福田会長) ないようですが、この提案事項につきましては、まだまだこの先もあると思いますが、時を経るごとにご提案を申し上げながら、これを喚起していただければと、こう思いますので、以上をもってこの案件については協議を終わりたいと思います。よろしゅうございますか。

(「異議なし」 の声)

(福田会長) どうもありがとうございました。

以上で自主的審議事項については終わらせていただきます。ありがとうございました。

6 その他

(福田会長) それでは、その他に入ります。その他に入りますが、事務局のほうからお願いいたします。

(佐々木参事兼総務課長) ご苦勞さまでございます。では、事務局のほうから3点ほどございますので、よろしくお願ひしたいと思います。

まず1点目でございますけれども、皆様方のお手元のほうに渋民公民館の指定管理者制度導入についてということで資料がいつているかと存じます。前回の地域協議会におきまして報告があったわけでございますけれども、その中で意見といたしまして、契約の段階でそれを明記できないかと。例えば職員の配置とか、そういった部分のことが具体的に載せられないかというふうなご意見があったところでございます。そういったところに配慮いたしまして、最初の11月11日付の回答がございまして、これと、そういった意見を踏まえて、担当課のほうでまた報告を上げてきてございます。中身は、いずれ地域協議会の答申に対する対応状況についてのところでございます。表にしますと下段の2のところの右側になるわけでございますけれども、その4行目のところから少し具体的に載せてきております。「また、必要な人材の配置については、仕様書に「施設の運営に支障のないよう、職員を適切に配置すること」を明記しており、指定管理者へ適切な人員配置を義務づけております」ということで、前回「指定管理者に要望してまいります」という部分を具体的に記載したものでございます。

以上、報告をさせていただきます。

それから、2点目でございますけれども、次回の地域協議会の開催についてですが、来年の1月上旬から中旬を予定しております。現在の委員の皆様方の任期が平成26年2月12日までとなっております。したがって、この委員メンバーでは次回の開催が最後の協議会となる予定となるものでございます。会長と調整の上、後日日程を皆様方にお知らせをしたいと思います。

最後、3点目でございますけれども、これまた前回の地域協議会の際に佐々木委員さんから提案のありました玉山総合事務所のほうに農林部の移設と申しますか、農林部を配置してほしいという内容の意見書が出まして、採択になったわけでございますけれども、それらの意見書の提出方法について、ちょっと皆様方にご相談を申し上げたいと思います。

地域協議会の意見書でございますけれども、平成18年1月の合併以来、何件か上げてきておりますけれども、当初の際は直接市長に対して手交、手渡しをして、内容を説明してきた経緯がございまして。地域協議会の会長さんの意見ということで、非常に重い意見書だという意味合いからも内容を説明の上、直接お渡しをしてきているという取り扱いをしてまいりました。当初のそういったやり方から若干その内容が変わってまいりまして、事務局と当局の文書のやりとりという形に変わってきたようでございますけれども、やはり冒頭で申し上げました、協議会の会長の意見ということでございますので、やはり内容を説明して、ぜひ市長もしくは副市長に直接手交するような形で意見書を提出してはどうかというご意見等も会長さん、副会長さんともご相談したところ、皆様方にお諮りしたらどうかというお話もございましたので、その他でございますけれども、この場で皆様方でお話し合いをしていただいて、どのような方法で意見書を市のほうに上げていくかということについてご協議をいただければと存じているところでございます。

以上でございます。

(福田会長) その他の事項につきまして、3点ほどお話があったわけでございますが、1点目

につきましては、それぞれ皆さんからこの文書を見ていただければわかるわけでございます。2点目の地域協議会の次回の開催につきましても事務局と打ち合わせながら進めてまいりたいと思います。

3点目の市に対する意見書の手交につきましては、今説明があったとおり、やはり地域協議会として市のほうに提出するわけでございますので、今説明されたとおり、やはり協議会のもので手交するというような方向で進みたいという思いでございますので、この辺をご協議、ご理解をいただければと、こう思いますので、よろしく願いいたします。どうぞ。

(佐々木委員) 以前のように、やはり合併をした玉山区とすれば、市長に意見、提言を申し上げるという機会はこの地域協議会以外にないわけです。いろんな団体とか場面であるとは言うわけですが、法律に基づいて行政に意見を申し上げるというのは、この地域協議会の中身しかないわけです。したがって、途中でどうしてやめたのかわかりませんが、会長が市長に直接手渡しで説明を申し上げるというのが筋だろうと。今まで何年か切れたのがおかしいのではないかなと思いますので、ぜひよろしく願いいたします。

(福田会長) ありがとうございます。
そのほかにございませんでしょうか。

(齋藤委員) 私もそうだと思います。会長さんが市長さんに直接お願いするのが筋であろうと思います。よろしく願いいたします。

(福田会長) それでは、そういう皆さんのご意見もございますので、ぜひとも市長に対して、私どものほうから手交することいたしますので、よろしく願いいたします。

(佐々木委員) 1ついいですか。関連しませんけれども、いいですか。

(福田会長) どうぞ。

(佐々木委員) 実は、もしかすればこのことも関係するかもわかりませんが、市民の意見が玉山だけではなくて、なかなか通らないという声があるような場面が出ます。その前に、計画をつくる前に市民の声を聞くほうがいいのではないかと。評価のときに聞く話ではなくて、計画をつくるような、市民の声を入れたほうがいいような場合はワークショップでどんどんやっつけていこうという、ワークショップが議論されておりました。そのときに市の広報なり、あるいはこちらでいくと「ひめかみ」等々で住民にPRをしているわけですが、なかなか読んでもらえないと。そうすると、きょうも新聞社が2社来ているわけですが、ニュースにしなければならぬのではないかと。ニュースにすればかなりの人が読むだろうし、テレビであればテレビも見ると、そういうような工夫が少し少ないのではないかと議論がありました、市役所の会議で。これが、皆さんも気がついていると思いますが、市長、副市長、区長が出た会議はニュースになりませんでした。

市民部のある事業が日報で大きく出ていました。これは、市の職員の皆様方が報道にPRする仕方がどうも課によって部によって違うのではないかと。この前はがっかりしました。その議論しておったときに、次の日の新聞に市長、副市長2人と区長が出るほうがニュースにならないのです。部長1人でやったほうがでかでかに出ているのです、日報を見たと思いますが。これは、なぜかと言ったら、やはり会議を設定したり、陳情を設定したほうが、報道機関に対するアピールがなかったのではないかと。それについては、特に職員、課長さんレベルだと思うのですが、部長が報道に行って頼むとか投げ込みするわけにいきませんので、投げ込みだけではきっと来てくれないのです。前は「きっと部長の差だね」と私、皮肉を言ってきたのですけれども、市民部が勝って市長公室が負けたのです。そんなようなこともありますので、これを部長さんと事務長さんに玉山区の場合もぜひニュースにする工夫をしないと、住民の声というの、市には届きません。ニュースにしたら市長も読まなければならないですね、やっぱり。市議員さんも読まなければならないのです。何とかそんな工夫を、この前痛切に感じましたので、区長も一緒に出ていましたからおわりのとおりでありますけれども、その議論をしているときにそうなのです。情けなかったです。これは参考までに情報提供ということでよろしくお願いします。

(福田会長) ありがとうございます。

そのほかにございませんか。

(なしの声)

(福田会長) なければ、協議会を終わりたいと思いますが、よろしゅうございますか。

(なしの声)

(福田会長) では、以上で地域協議会のほうは終わらせていただきます。

ありがとうございました。

7 閉会

(萬事務長) それでは会長さん、どうもありがとうございました。

以上をもちまして第49回の玉山区地域協議会を終了させていただきます。本日はありがとうございました。

(14時17分)

会議録作成者

盛岡市役所玉山総合事務所 総務課

地域政策グループ

担当者 加藤

TEL683-2116 (内線 220)

FAX683-1130

E-mail tm.soumu@city.morioka.iwate.jp